

## 地方創生の趣旨

### 1. 目的・取組み

地方創生の目的は、東京一極集中を是正し地方に活力を生むこと、急速に進む少子高齢化と人口減少に歯止めをかけることである。その目的を達成するために、これまでの人口の変動を分析し、平成 72 年（2060 年）までの人口動向を予測するとともに、目指すべき将来人口を示した「中井町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」（以下、「人口ビジョン」という。）を平成 28 年 3 月に策定した。その中で、20 歳代後半から 40 歳代前半の転出抑止と転入促進を図ること、平成 72 年に 7,000 人程度の人口を確保すること、合計特殊出生率を国・県の目標値に追いつくように上昇させることなどを目標としている。

加えて、人口ビジョンの目標を達成するためにはどのような取組みが必要になるのかを検討し、当町の特徴を活かした平成 27 年度から平成 31 年度までのまちづくりの 5 か年戦略として「中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）を平成 28 年 3 月に策定した。

人口ビジョンと総合戦略の策定に当たっては、行政だけではなく、様々な分野「産・官・学・金・労・言」の有識者の幅広い知見を取り入れるために、「なかい戦略みらい会議」を設置して人口ビジョンと総合戦略の策定に参画していただいた。総合戦略に掲げる事業を推進していく上では、定期的になかい戦略みらい会議を開催して、委員から様々なアドバイスをいただいている。（参考資料 1）

#### 【補足】「里都まち」とは

里山に象徴される豊かな自然環境に囲まれた生活の営みと、交通の要衝であり、有名民間企業の研究所等が多数立地する都市的利便性が融合、調和している中井町の特徴を表した言葉。やすらぎのある豊かな自然環境（＝里）と、都市的な生活を味わえる生活環境（＝都）とを合せて「里都まち」としている。

### 2. 総合戦略事業 実施体制

町では総合戦略事業の担当課を振分け、総合アドバイザーに参画いただきながら事業を進めている。また、リーディングプロジェクトとして「里都まちなかい魅力創生プロジェクト」（ブランド、スポーツ、プロモーション、拠点整備）を立ち上げ、部会を設置して多面的に協議しながら推進している。（参考資料 2）

### 3. 地方創生交付金の活用

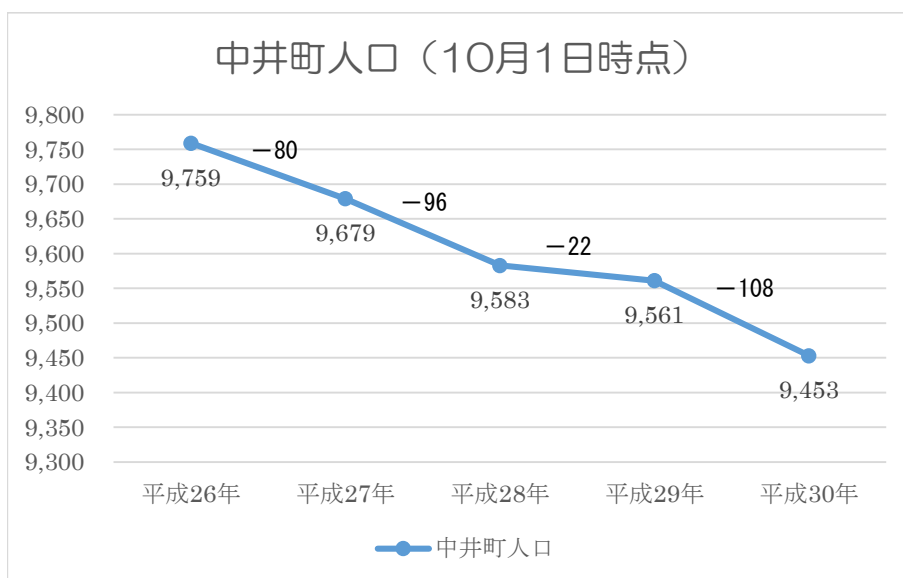
総合戦略に掲げる事業を進めていく上では、国からの地方創生交付金を活用しながら進めてきた。ただし、町が予算をかけて事業を実施し続けることは困難であり、まちづくり

の主役である町民が事業主体を担い、町からの補助がなくても自走化していける仕組みづくりが重要になる。

#### 4. 人口の推移

当町の人口は、平成6年（1994年）の10,480人をピークに減少している。人口増加に転じることが最も望ましいが、人口減少を少しでも緩やかにしていくことが地方創生の目的であることから、地方創生（総合戦略）事業を進めることで人口動向にどのような影響が出ているかを分析することが重要になる。そこで、確認した直近の数値が次のとおりである。

##### ①直近5年間の人口推移（単位：人）



##### ②社会増減と自然増減（単位：人）

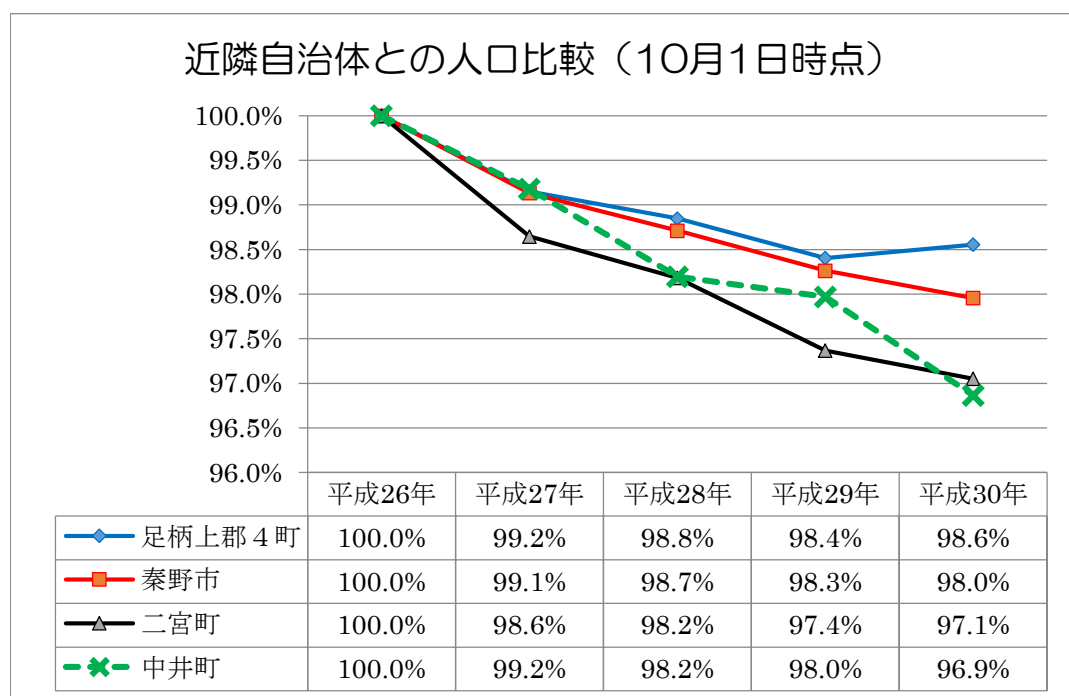
	社会増減			自然増減		
	転入	転出	増減	出生	死亡	増減
平成26年	384	388	-4	43	90	-47
平成27年	435	452	-17	43	117	-74
平成28年	386	348	38	35	112	-77
平成29年	355	363	-8	42	105	-63
平成30年	242	260	-18	28	82	-54

※平成30年は平成30年1月～9月の数値

③25歳～44歳の人口（単位：人）

	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	合計	前年比較
平成26年	399	505	693	727	2,324	
平成27年	390	478	631	762	2,261	-61
平成28年	365	442	591	749	2,147	-114
平成29年	365	409	581	734	2,089	-58
平成30年	335	403	529	717	1,984	-105

④近隣自治体との比較



【分析】

- ・平成28年度から実際に総合戦略事業を推進し始めてから、平成29年に人口減少が緩やかになったが、平成30年に再び人口減少が進んでいる。  
人口ビジョンでは、平成30年時点で約9,500人の人口を目指しており、実績値では9,453人となった。目標より少し減少幅が大きい。
- ・社会増減と自然増減の両方が減少している。特に、転入増加と転出抑止を目標にしてきたが、昨年よりも今年の方が転出超過が大きくなっている。
- ・特に25歳～44歳の人口減少を食い止めることを目標にしているが、毎年大幅に減少している。
- ・近隣自治体との比較では、中井町を除く足柄上郡4町の合計人口が平成30年に上昇しているが、秦野市とほぼ同じ減少幅で人口減少が進んでいる。中井町は二宮町と同

じような減少幅で人口減少が進んでいるが、平成 27 年と平成 29 年を見ると分かるように、二宮町が大きく人口減少した年の中井町の人口減少幅は小さく、逆に二宮町の人口減少が緩やかになった年の中井町の人口減少幅は大きいことから、両町でパイの奪い合いをしている可能性がある。(中井町の転出入は秦野市、小田原市、平塚市が多い)

- この結果を踏まえると人口減少が加速化していることから、取組みの効果が出ていないと言える。しかし、総合戦略に掲げる事業を推進し、これまでになかった新たな取組みにチャレンジすることで、新たな魅力創出ができています。何が効果的で何が効果的ではないのか戦略を見直し改善を図っていく。各種媒体を使って様々な機会を活用しながら積極的な情報発信に努め、中井町及び町の魅力の認知度向上を目指す。